

1. 件名:「新規制基準適合性審査に関する審査会合への対応について(高浜1, 2(3, 4)号炉)」

2. 日時: 令和4年7月14日(木) 13時20分~14時35分

3. 場所: 原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者(※・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁:

(新規制基準適合性審査チーム)

奥企画調査官、深掘上席安全審査官、鈴木主任安全審査官、伊藤安全審査官、三好技術参与

技術基盤グループ

システム安全研究部門

山本技術研究調査官、酒井技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力発電部門

燃料保全グループチーフマネージャー※ 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

提出資料: なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、衛藤規制庁の伊藤です。それでは本日の審査会合のラップアップを開始したいと思います。
0:00:08	衛藤関西電力の方から、今回の補コメントですね読み上げをお願いいたします。
0:00:21	関西電力の山野でございます。本日の審査会合のポイントボードの方へ画面の方に共有させていただいております。今回は合計七つのコメントというふうに整理をさせていただいております。順次読み上げさせていただきます。
0:00:36	まず一番上①からでございます。別添 3 の資料におきまして、基本ケースの評価結果のみでなく、各感度解析の評価結果についても、
0:00:47	第 3-2 図に記載を検討すること。
0:00:53	失礼しました。続いて
0:00:55	②番でございます。
0:00:58	別添 3、3.2. 2 のところにおきまして、妥当性確認結果の記載について、現状の記載だと、物理式と比較で、基本ケースが真値であることを説明しているように見えるため、
0:01:11	この文書の趣旨が傾向の比較ならばその旨がわかるよう、適正化すること。
0:01:16	③としまして、同じく別添 3、第 3-4 図について、中性子束分等も考慮した記載に見直すこと。
0:01:26	④。
0:01:27	同じく別添 3、第 3-3 の人数について、各会計概念図に下部反射体に係る情報を追加すること。
0:01:36	はい。⑤以降は補正申請書の記載に関してのコメントでございます。
0:01:41	⑤、本文中で領域制限を撤廃することがわかるようにすること、現状の遠慮が 1 という記載が残ったものでは、後段規制、これ保安規定を、
0:01:52	の審査のキックとなりえないため、配置制限全体がわかるような記載例としまして、申請理由等で検討する、言及する。
0:02:00	すること。
0:02:02	⑥としまして、添付書類 8 における反応度の最も高い新燃料という記載を本文とひもづけできるよう、濃縮度等の記載を使った文章に見直すこと。
0:02:15	最後⑦としまして、申請の理由は、胎児制限をなくす。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:21	中性子吸収体をなくす、安全性向上を図るといった申請の中身がわかるような記載にすること。
0:02:28	ということで、七つのコメントとして整理いたしました。以上でございます。
0:02:35	規制庁井藤です。す。説明ありがとうございました。規制庁側からコメントありますでしょうか。
0:02:42	規制庁鈴木です。
0:02:47	規制庁伊藤です。ありがとうございました。それでは規制庁側からコメントをお願いします。
0:02:52	規制庁鈴木です。丸一井は、ケース②について、
0:02:59	若干傾向が異なる場合は、何かしらの説明を追加されるということ言われてたと思ったので、
0:03:08	そこを含んでいるのであればいいですけども、
0:03:14	関西電力の新村ですそれを含んだ記載となっております。②に関しては、ちょっとそこら辺もフクハラですそこら辺の含みを持たせた。
0:03:27	ことがわかるようにちょっと今書きましようかね。
0:03:31	規制庁鈴木ですお願いします。
0:04:20	はい。
0:05:04	あ、関西電力の福原です。ちょっと今書きかけてますけどもそれ会議後確認したいのが、今ちょっとこういう書き方たケースについてって書きましたけども
0:05:19	非常に脳性れないのであれば適切な載らない理由みたいなのを、除外理由みたいなのをしっかり
0:05:30	それも書いてくかを記載するということによろしいんですね。
0:05:35	規制庁鈴木です。
0:05:38	乗らないのであれば、乗せないのではなくて多分載せるんですね、プロットしてみるんだと思うんですけど、それで、
0:05:47	ずれてるのは、こういう理由ですっていうのが、
0:05:52	あればそれでいいのかなと思ったんですけど、イメージ違いますか。
0:06:21	規制庁鈴木です今の何か括弧書き付け加えられたってことは、ケース②をプロットしないということ、
0:06:31	暗に言ってるように聞こえるんですけど。
0:06:36	ミュートになってるから、
0:06:39	規制庁スズキです。
0:06:42	今の括弧がキーを追加されたのは、案 2、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:49	ケース0には記載しないよってということを言われてるように、
0:06:52	に見えるんですけど。
0:06:55	私の意図するところは、3.1. 1 のところの、
0:06:59	低水密度、
0:07:01	の状態であれば、
0:07:04	説明できるということに対して、ケース①から④も、プロットしてみて、
0:07:11	やっぱケース②わあて水水を、の条件じゃないよねっていう、
0:07:17	結果がわかるのであれば、そこから、
0:07:20	これについてはどういう状態なんだっていう説明が、
0:07:25	あればいいのかなと思ったんですけど。
0:07:28	何か
0:07:29	プロットして、
0:07:31	類似ケース③に乗らないものはオミットしちゃえみたいなの。
0:07:36	いうのはちょっと何か、
0:07:38	確認としてはおかしいかなって気がするんですけど、どうですかね。
0:07:44	関西電力の福原ですちょっとですね我々今の時点でもうプロットするとかしないとかっていうのをケースについて決めてるわけではなくてですね、
0:07:55	ちょっとまだそういう、消えてなくて程度売ってみてどんな傾向なのかなっていうところまず見てみてですねちょっと乗ってこないということであれば、その乗らない理由っていうのを
0:08:09	ということで決して今時点でもうプロットしないということを決めてるわけではございません。
0:08:15	規制庁杉です今口頭で説明されたようなことであれば結構ですねそういうイメージで、
0:08:22	指摘事項リストを作っただけであれば、結構
0:08:49	規制庁スズキですそれで結構です。
0:09:03	よろしいですか規制庁ヤマモトですが、
0:09:06	②についてちょっとコメントさせていただきます。
0:09:11	フルにですね書かれてる通りなんですけど、
0:09:17	具体的にちょっとそこを先取りする形で恐縮なんですけど、
0:09:21	例えば図の、
0:09:24	先ほど何だっけ。
0:09:26	関野さんの、
0:09:30	これですね3-4 図ですかね。これで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:34	物理方程式の例えばいわゆる修正、加来さん、近日か何かに書かれるんじゃないかなと思うんですけど。
0:09:42	これ角型に変えただけではですねこれは必ずしも正しくない。なぜかという、その修正拡散近似というのはちゃんと正しいバックリングを入れたときの値であってです。
0:09:53	もし書くとしたら、すごい長く異なりますけど修正拡散近似カッコのバックリング直バックリングはSTACYのものを代表しましたって書かないと。
0:10:03	新しい技術になりませんので、その辺は正しく記述するように、お願いいたします。
0:10:10	それから、
0:10:17	そうです。ただ修正一部理論だけであると、これは6人が正しい値を入れた場合の、
0:10:24	異なる。
0:10:26	だから、ところがバックリング今計算されてないですちょっとSTACYのものを代表して使ってるだけなんで、必ずしも正しい。
0:10:34	好きではないと、なので、ただし書きのついた式になっちゃうんです。このままだとですね、もしもどうしてもそれ嫌だっていうんだったら、ちゃんと正しくバックリングを計算し直して使っていただきたいと。
0:10:48	電力の新村です。すいません。今の
0:10:53	各
0:10:55	物理式というところについては修正1分という形に直したいと考えております。
0:11:02	で、下、その一文の修正順の試験に適用する各パラメーターですねこちらを猪野。
0:11:12	履修の実験の結果から持ってきてますよということにつきましては、一応別添3の8ページ。
0:11:20	の方に、
0:11:23	三つポツがありますけども、その一番下ですね。
0:11:30	三つ目のポツのところ、M2乗ですとかガイソウ距離っていうのは、文献の結果を、をもとに、計算して設定したと。
0:11:40	いうことを記載しておりますので、
0:11:43	今おっしゃられたその
0:11:47	その文献を参考に設定を、
0:11:50	文献の実験をもとに設定をしたものなんですよと、これは、要は基本ケースですとかそういう、今回の基本ケースの値ではないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:00	いうところは記載をしているかなと考えております。
0:12:05	施設ヤマモトです。おっしゃる通りで文章を見るとちゃんとわかるんですけど、この図だけ見ますとね何か誤解を招くので、例えばですけど、例えばこの物流で関戸コガ、修正近似か何かに、修正 1 群近似か何かにして、
0:12:20	例えばですけど、①と②の式を、
0:12:25	つけたらどうですかね括弧①及び②式みたいな形で、
0:12:29	そうすると誤解を招かないと思うんですけどね。
0:12:32	でないとなんかまずいかというとその下の軸方向以外の距離各 1.5 倍とかというのが、何でこんなことする必要あるのってなっちゃうんで、
0:12:42	結局すべての問題はそのバックリングを代表してしまったことからきてそれがひずみになってきてるわけですね。なんで、そこを、
0:12:52	明確にするためには、
0:12:54	土岐物理法でできるところをちゃんと、どの時期使いましたかというのがわかるように対応して書いていただければいいかなと。
0:13:06	関西電力の新村です。
0:13:09	了解いたします。ちょっとグラフに載せてる凡例というところでちょっとわかりやすさを、
0:13:16	優先してしまってるところもちょっとありますので、
0:13:21	ちょっとこのグラフを単体で見たときに、どういう値を使っているのか、どういう式でやってるのかっていうことかなるべくわかるようにちょっと情報を追加したいと考えております。
0:13:33	清寺本です。結構かと思います。あと、少し審査会合の場でも申し上げましたけどもう一つの手としては、
0:13:41	いわゆるSTACYレーダーであるそのバックリングを使ってもですね
0:13:47	そこそこの値が出るということであれば、比較対象を変えて、気相部がほぼ常勤のみの場合を、
0:13:54	比較する点もあるかなと思います。そっちの方がすっきりはするかもしれないですね直接比較ができるので、
0:14:02	何となく図を見るとよく合ってるような気もするので、そういう点もあるかなと思ってます。
0:14:11	関西電力の島津今野ところちょっと確認したいんですけども、まず今回、基本ケースの妥当性を確認するというのでこちらをやっておりますので、
0:14:24	まず基本ケースの結果については載せてあるべきかなと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:31	その方は料金の結果を載せてそちらと比較するというのは、何かその方法は獵期という今回の解析系ではないものの中妥当性を確認して、
0:14:45	確認するというような形に、
0:14:47	なるのかな。
0:14:49	とも思いますし、実際こちらにプロットしてみてもですね、実態としまして、この外挿距離掛ける2倍っていうもの、
0:15:01	当基本ケースの間に飽和蒸気の、
0:15:05	二つが来るようなイメージとなりますので、
0:15:11	そうですねそちらを
0:15:13	入れて、
0:15:17	ただ、どういうことに言及するということになるのかが、すみませんちょっと。
0:15:23	私今、頭に浮かんでないんですけども、
0:15:28	急いでまたご説明ありがとうございますおっしゃる通りですね私はちょっと高度の
0:15:33	解析結果の妥当性後だったらベンチマークじゃないですけど、そういうケースもあるかなと思ったけど今ちょっと違いますね。基本ケースの妥当性を評価することであれば、今ご説明のあったように、
0:15:45	ちょっと無理してでも、今の比較の方が正しいかと思しますのでちょっと訂正させていただきます。
0:15:53	関西電力の志村ですありがとうございます。
0:15:57	今ほど、先ほどおっしゃっていただきました物理式に基づくところの
0:16:04	というのが明確にどういうことを使ったかわかるようにというところ。
0:16:08	で、本件対応させていただきたいと考えております。あと、すみませんもう1点なんですけども、
0:16:16	ちょっとこのコメントにも書かせていただいたように、まず、
0:16:21	このようにかなり体系とか、そもそもが違うあたりのものを使っていたりというところもありますので、
0:16:32	ちょっと最後のところでもご説明させていただいた通り本件がどういう趣旨で、ここの解析、傾向確認、まずここ、
0:16:43	まず比較というのが、傾向確認のためやっているんですよというところも合わせて、文章中には追記をしたいと考えております。
0:16:54	規制庁山元です。了解いたしました。
0:17:02	規制庁伊藤です。他に規制庁側からありますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:11	大丈夫です。はい。
0:17:19	すいません。関西電力の新村です。ちょっとこちらから
0:17:24	2点ちょっとお伺いしたいんですけども、
0:17:29	まずイベントの、③のところちょっと黄色ハッチングさせていただいて、
0:17:35	た箇所なんですけども、こちら三好さん。
0:17:40	からおっしゃっていただいた中性子束部の話になるんですけども、あとこちらのコメントをいただきましたことのちょっと趣旨を、
0:17:50	確認させていただきたいなと思います。
0:17:53	まずこの中磁束分布というのがコサインを前提にしているというところについては、我々の認識としましては、
0:18:03	この物理式に基づくへ、修正1群の式で計算をする場合には、コサインの分布になっているということを前提に置いていると。
0:18:15	いう認識でおりまして、一方で、その基本ケース、
0:18:20	ですとかまあ、
0:18:22	ええ。
0:18:23	気相部と液相部で、かなり
0:18:29	反応度の差がありますと、というような状態においては、やはり他、この軸方向全体で見た時の中性子束分布というのは、コサインになる。
0:18:41	かという、
0:18:44	少しコサインから離れた分布になるのかなという認識でおります。ですので、
0:18:51	この③のセメントの趣旨としましては、要はそういう修正1群の式は、コサインの分布を前提にしていると。
0:19:02	ということで、一方で、
0:19:06	基本係数、
0:19:08	等々の評価結果については旧生息分布は、コサインにはなっていない、なっていないというか、少し状態としては外れるんですけども、
0:19:20	今回の02の山尾さんからのコメントとの絡みで、これはその傾向確認というところもあるので、
0:19:30	オウムに
0:19:33	構造物の挙動が把握しうるものとして定期的をしましたですとか、そのように
0:19:40	要は計測分の想定差には、想定には差がありますよということ、資料中に記載すると、そう受け取ったんですけども、
0:19:51	事故としては合っておりますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:56	はい。規制庁の三好です。今ちょっと補足する、させていただこうと思ったんですけども、
0:20:03	まずですね、ちょっと書き方ともかく、
0:20:07	書き方は最後にあれしますけど、
0:20:11	要はこういう修正 1 群理論で、
0:20:16	バックリングをガイソウ距離を使ってやる、この資料で言えば②の資料ですよ。
0:20:23	3、
0:20:25	1 の②の好きですけど、
0:20:27	これは要は近似的にでもコサイン分布が成立してると。
0:20:33	いうことが、
0:20:35	その議論の出発点になるので、
0:20:38	今ここで議論している体系が、そういった議論の中でできるっていうそういう部分について確認をしないと、何やってるかわかんなくなる。
0:20:49	ということなんですよね。
0:20:51	ですから、
0:20:52	今ここで言うと模例えば先ほど議論があった別添 3 の中の 3-4 図、
0:21:00	5 で基本ケースっていうのが、
0:21:03	書いてありますけど、
0:21:05	この基本ケースというのは、
0:21:08	これは
0:21:10	課題をプロットしたもん。
0:21:12	何でさてこれ、
0:21:14	ですよ。
0:21:16	それに対して、
0:21:19	軸方向のガイソウ距離、これをTCAのやつを 1 点、
0:21:25	元が二倍にしてどの程度に来るか。
0:21:28	いう話なんですけど、
0:21:31	要するに外装距離が大きくなるってのはちょっと審査会合でも申し上げましたけど
0:21:37	今回の基本ケースではね、それ以上になるという要素はあるので、それはいいんですけど、
0:21:45	どのぐらいかっていう議論についてはヒアリングとかそういうので、大体 4、30 センチとか 40 センチとか、結構大きな値が、
0:21:54	ある程度そういう湖西に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:57	値も示されたというふうに、
0:22:00	私認識してるんですけど。
0:22:02	それはそうそう考えてよろしいんですかね。もし、
0:22:06	ある程度そういう、基本ケースについて、
0:22:10	コサインをフィッティング関数としてやったときに、
0:22:16	入っているのは、
0:22:20	関連の方で、そういうデータを持ってるのであれば、
0:22:23	そういったところも含めて、
0:22:26	変えた方が、
0:22:27	説明の説明としては、
0:22:30	いんじゃないかというそういう感触なんですよ。
0:22:37	つまりその爆燃が成り立つか成り立たないかっていう、コサイン分布が成り立ってるか成り立ってないかって議論をちょっと、
0:22:45	については何ヶ所の
0:22:47	考え方を変わってもらうことが必要だし、
0:22:50	コサイン分布に近い形になってるとしたときに、
0:22:55	基本ケースではどのぐらいなのだというふうに考えられるっていう、そういうことが言えて、
0:23:02	菅こういう、
0:23:04	に反映させられるのが必要させることが必要なんじゃないかなというふうに、
0:23:09	思ってるんですけど。
0:23:19	関西電力の新村です。
0:23:22	まず、まず高速コサイン。
0:23:26	基本計特に基本ケースの中性子束分布、特にこの水位が中東になっちゃうと水位、特に低水位になっている時の、
0:23:36	中性子束分布が、押さえになるかというところにつきましてはちょっと我々としては、
0:23:47	ちょっと、そうは、
0:23:48	ならへんのかなという認識で、まずおり、
0:23:54	このヒアリングの途中で
0:23:57	この軸方向ガイソウ距離がこれくらいの値になるだろうという値に関しては、ちょっと我々の方からは、
0:24:07	提示はしては、おりません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:12	今回軸方向外挿距離を与えて、次、実効増倍率の計算をし、しているのは、
0:24:23	別添 3-9 の第 3-3-1 図、
0:24:27	のIKこちらは基本ケースの体系ではまずございませんけども、このような体系になれば、要は気相部が
0:24:39	水位の低下に応じて、燃料も、
0:24:45	燃料高さも一緒にチームと、つまりその気相部という概念がないといえますか、そういう体験に対して、この修正 1 群の式を適用しておりますので、
0:24:56	第 3-3-1 図のような体系であれば、中性子束分布についてはコサインになっているかなと考えております。
0:25:07	ではなぜその体系が全然、全然ではないですけど気相部に燃料がないような状態と、基本ケースの体系。
0:25:18	のコードで評価した実効増倍率の結果を比較したかと申しますと、
0:25:24	やはり基本、基本ケースの冠水維持と、すべて基礎対 0 の結果というのがかなり実効増倍率に差があると。
0:25:34	気相部の方が反応度が、
0:25:37	高いと、相当高いということで、実効増倍率の挙動については、この第 3-3-1 図のような体系での実行度合い挙動。
0:25:49	を、概ね一致するであろうということで、
0:25:55	今回のような確認を行ったというものでございます。
0:26:05	規制庁のミヨシです。で、どういう考え方でやってやったかっていうのは、一応
0:26:11	中身を理解してるつもりなんですけど、要するにそのこのところのロジックがね。
0:26:19	先ほど前から申し、繰り返しになりますけど、
0:26:25	バックリングを使った式っていうのは、
0:26:31	そういう水中にある部分と、
0:26:34	ンス空気中にある部分と、領域的には 2 領域の計算をしてるわけですけど、
0:26:40	ただ、領域の炉心、
0:26:44	無人でのFLACS分布等を近似的に、ある程度、
0:26:50	1 領域、
0:26:53	もう基本モードができて、に近い形になってるという、
0:26:57	そういうことを前提にしてるので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:01	そこについてのね、やっぱり
0:27:05	評価というか、考え方をやっぱり示さないと、何か、
0:27:13	都合のいい使える部分だけで話してるような気がしてならないわけ。
0:27:17	今さっきね
0:27:21	ケース 2 とか、そういう、
0:27:24	水分気相の水分含有率が、
0:27:28	多いときは、
0:27:31	要するにコザイ分布にならないんじゃないかっていうそういうふうを考えてると言われたけど、もしそうだったらこの議論って、
0:27:39	成り立たないんですよ。
0:27:43	ある程度そういう今考えてる基本ケースの部分における含水率の範囲で、
0:27:51	反応度的には水中のものが支配的で、
0:27:55	うちのものはそれプラスアルファというのは、
0:27:59	FLACS分布の範囲であればあるから、逆にあるとして、
0:28:04	こういう議論は成り立つんだってね。
0:28:07	もういろいろ炉心としてある程度振る舞ってんだってということになると、
0:28:11	こういう事業んしてもね。
0:28:14	あまりなんかこう、わかってない部分まで何かすごく、
0:28:19	その適用が超えてるところで、何か物を言ってる形になってる。
0:28:24	ちょっとすごくこの今の書き方だと、
0:28:28	ちょっと物理的にどうなのっていう
0:28:31	そういう感じがするんですけど。
0:28:35	もう一つ、ちょっと
0:28:38	モデル化のことで言えばね、
0:28:43	TCAの会計がこれ、図をもう少し、
0:28:48	実態に近い形で修正してくれっていうことを、
0:28:52	④で言いましたけど、何でこういうことを言ったかという、
0:28:58	ピー・シー・エーでの今出てるね。
0:29:01	うん。
0:29:03	別添 3 の中の 3-4 図で、
0:29:07	TCM λ を基本にして、
0:29:10	それ二倍したり云々やってますけど、
0:29:14	TCAの炉心炉心での実験的に求めた。
0:29:19	ガイソウ距離っていうのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:22	こういう別添 3-9 の絵でいうね、
0:29:27	こういうモデルではなくて、
0:29:30	下には水反射体があると。
0:29:34	水水位中はもちろん水、雨水の空気中の、
0:29:40	受振を考えた上で、
0:29:43	の、
0:29:44	好きになってるわけです。
0:29:47	だからある意味TCAの添の実験的に求めた外装距離の入っているの も、
0:29:56	別に燃料のところだけを取り出してるのではなくて、
0:30:00	下部の反射体も、
0:30:02	あるし、
0:30:03	水中の何か水上のね、基礎中の
0:30:08	燃料体も含んで、
0:30:11	ただし、方は、蒸気圧ですけどね。
0:30:14	そういうものに対しての、
0:30:17	気になってると。
0:30:19	根井。
0:30:20	だからそういうことも含めていずれにしてもこの議論っていうのがね、
0:30:24	水水中とす空気中の 2 領域の
0:30:29	燃料体系が、隣接してる形で、
0:30:33	それをどこまで、
0:30:35	今の修正 1 群、
0:30:38	等の
0:30:40	バックリングで、
0:30:42	ある程度ちょっと説明ができるかっていう、どこまで説明ができるかって いうところを少し、
0:30:51	わかってることをベースに、
0:30:54	説明してもらわないと。
0:30:57	確信のある部分を説明してもらわないとなんかすごくね乱暴な議論にな っちゃうわけですよ。
0:31:04	ちょっとそういうところをちょっとす。
0:31:07	指摘したつもりなんですけど、
0:31:10	規制庁スズキですちょっとお待ちいただけますか。
0:43:52	規制庁スズキつお待たせしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:55	先ほど三好の方からいろいろお話をさしてもらって関西電力としてもいろいろ思うところが、
0:44:02	あると思いますので、これについては、改めてヒアリングで事実確認を、
0:44:09	したいと思います。で、
0:44:11	それにあたっては今日の審査会合のミヨシの発言を受けて事業者としての、
0:44:19	修正資料の修正が必要であれば修正して、改めて説明していただければ結構ですし、
0:44:26	こちら側からも、ヒアリング様に向けて、規制庁としてのペーパーを出しますので、
0:44:33	しっかり書き物にしたもので、事実確認を、
0:44:39	したいと思いますけれどもいかがでしょうか。
0:44:43	はい。関西電力の福原です。ペーパーでのやりとりさせていただくということで賛成でございます。阿藤。ちょっと、せつかくうの機会ですのもう少しだけ、この件、ご議論というか確認させていただきたいことがございます。
0:44:59	今の植村さんとの議論させていただいてる中でやっぱりちょっと我々わからなくなってきているのは、ここで妥当性確認っていうのはどこまで
0:45:09	間宮さんおっしゃられる入口論のところであらう我々のアプローチに疑問があるということだと思んですけども、
0:45:19	アプローチに以外にですね何ていうかな、求めるところとどうなる。
0:45:26	会場形として、どういう状態になっていることでもってその妥当だといえるのかっていうところが、規制庁さんとしてはどうお考えなのかなっていうところなんです。以前議論させていただいた中で
0:45:40	等の資料の第3-4図ですね、別件、あの中につけてますけども、ここに載せてますようなこのグラフがですね完全に一致するようなことっていうのを決して求めるものではないというふうにはお聞きしましたので、そこは私ども理解しているんですけども、
0:45:59	下がることに対してどの程度下がることに対しての定量的な施設が必要なのかとか、そこ、今一度ですねもし今日でしたら、お聞かせいただければなとそれを踏まえてちょっと我々資料の修正もですね、
0:46:14	そこら辺は取り込んだ形でできればもう直していった方が話が早くなるかなと思いますので、できればお聞かせいただけないでしょうか。規制庁スズキつまずきはたCが最初に理解のためにお聞きした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:27	ところは満たしていただきたいと思っていてそれは何言ったかっていうと、
0:46:32	水位ゼロのときにおいて水が少し入っている時の、
0:46:38	解析結果傾向が、別添 3 の 6 ページの
0:46:45	ように、存在する水の量を空間平均水密度として表現すれば、
0:46:52	低密度数
0:46:55	水の条件のベンチマーク。
0:46:58	をしているものと同じような説明になるはずだということで、
0:47:03	瀬、まず一つ説明ができるそうすると
0:47:07	来そうになったとしても水がある程度入ってると若干減速こう中性子の減速が出て、
0:47:15	という。
0:47:16	ところがまず一つあった上で、
0:47:19	それがバックリングの説明において基本ケースと、
0:47:24	何、何で確認するか別ですけど、
0:47:27	基本ケースを確認した何かしらのカーブの差異が、そういった基礎部分の、
0:47:33	水が少し入ってるときの効果が、その辺に入ってくるんですよっていう説明が、
0:47:41	あれば、それで一通り妥当性確認としては、説明、
0:47:47	のレベルは達してると思ってますそれを定量的にやる必要はない、定量的ってのはバックリング側の方を定量的に、
0:47:54	これだけの差があるんですそれが、先ほどの別添 3 の 6 ページのほうの図で説明できるんですっていう定量的なその、
0:48:03	差異の説明まではなくてもいいのかなっていうふうに思ってますんで、
0:48:07	一方でミヨシが多分言っているのは、炉物理としてそのバックリングの説明をする時の、
0:48:15	説明の仕方だとか、そういったものが、材料と、
0:48:21	書いてる文章が、必ずしもマッチしてないんじゃないかっていうことを言っているとしますので、
0:48:27	その部分については、こちらからもペーパーを出してですね、書類で確認を、
0:48:34	できたらなっていうふうに思っているということですけども、
0:48:38	何か皆さん追加でありますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:42	規制庁の三好です。先ほど福原さんからは、あとその妥当性確認というのは、どこまで、
0:48:50	おんなじを含むのかという話で、
0:48:53	これ一、
0:48:56	これについてはですね、以前私はある程度申し上げたと思うけども、
0:49:03	要は、
0:49:06	その妥当性確認を、
0:49:10	をスルーために何をしてるかという、
0:49:14	要するにモンテカルロで出した、含水率はいろいろパラメータにしてますけどね。
0:49:20	そこで出たそのKエフェクティブの瞬臓性について、
0:49:27	過去に水位が下がってる。
0:49:31	どっかで瘤が出るとかそういう話もあって、
0:49:36	今回は出てないということで、
0:49:39	そういうことのこと一部ありましたけど、
0:49:43	こういう形effectiveの水位依存性について、
0:49:46	ある程度解釈ができるものなのかと。
0:49:51	いう。
0:49:53	話が
0:49:55	だったと思うんですね。私自身はですね、
0:50:00	こういうモンテカルロで計算すると、結果が出てきて幾らでも出てくるんですけど、
0:50:06	それがある程度、
0:50:08	簡易的なモデル。
0:50:11	が適用できる場合には、
0:50:13	そういう
0:50:16	詳細モデルを回さなくてもですね、会員、簡易的なモデルである程度の傾向は、
0:50:22	出せるので、それとの比較をすることは、
0:50:26	その妥当性確認の一環として、
0:50:29	有用じゃないかという考え方も持ってるんです。ただし、
0:50:34	その細かな部分のですね今日の詳細計算コードで出た細かな部分を、 について逆に簡易計算で、
0:50:42	共同を議論しようっていうのは、そもそも師資格が検討してる話なんで、
0:50:50	そういう点ではですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:53	もうこちらからお出した、TCAでのそういうバックインを用いた
0:50:59	修正自分の、
0:51:01	計算式
0:51:02	は一つの
0:51:03	参考になるものなので、
0:51:08	それとの比較ということをまずやって、
0:51:11	それと、
0:51:14	今、関電の方が、
0:51:16	評価している体系については、どういうところが違うのかとか、
0:51:21	どういうところろの、
0:51:24	反射条件なり、
0:51:26	そういうのが違うのかってそういうところを少し丁寧に、
0:51:31	説明し、する。
0:51:34	古藤で十分じゃないかなというふうに私は思ってるんです。だからそこを ね、
0:51:40	物理的にいろんなパラメーターの定数を使って、
0:51:44	賞賛化粧さ計算コードで出てきたものに対してね。
0:51:50	合わないということは、
0:51:52	それほどマストな話では、
0:51:56	ないと。
0:51:57	いうふうに思ってます。ただし、
0:52:00	そういう形でやっぱり例えば点端的な例。
0:52:04	別添 3 の中でね、こういう。
0:52:06	絵を出してるわけだからこの、この地震は、ちょっとその凡例の書き方と か、
0:52:12	そういう説明の仕方は別として、これは
0:52:15	一つの
0:52:17	詳細計算で出た結果に対する解釈をね、得るものとして、
0:52:22	出してもらうのは、
0:52:25	有効じゃないかと。ただしその
0:52:28	値が成沢当然あって、ここでは、
0:52:33	該当距離を変えれば当然長くしていけば、
0:52:37	見かけ上基本ケースに近づいていってるわけだけど、
0:52:42	だからそういうところについてはね、
0:52:45	少し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:47	関電さんの方で、
0:52:50	エビデンス持っておられないかもしれないけども、
0:52:53	ある程度その今の、
0:52:55	基本ケースの、
0:52:58	水分含有率精度であれば、
0:53:01	ある程度コサイン分布、
0:53:03	というものの、この近似性ってのがあると。
0:53:06	いうことであればそういうことを踏まえて、
0:53:10	真壁。
0:53:12	叩ける程度。
0:53:16	いわゆる参考。
0:53:19	こういうパラメトリックに
0:53:21	バックリングで出したようなものは、
0:53:24	要するに参考。
0:53:25	参考値として、
0:53:28	うんすか。
0:53:31	その次、間違い。
0:53:33	低く出てるものに対してはそれなりの多少の解釈を付け加えると、
0:53:38	そういうところでいいのではないかなというふうに、
0:53:41	思ってます。
0:53:43	私の機関あれはそういうことただしその、
0:53:47	やっぱりこういうものでね、
0:53:50	加えるのはある意味で、そういう意味では基本ケースの部分が、
0:53:55	ある程度
0:53:57	舞台分布に近いっていう、
0:54:00	私はそうじゃないかなと思ってるのは伊賀伊神とか当然ありますよ。
0:54:04	だけどそれなりの、
0:54:07	本当に1時金としては、
0:54:10	会社ん。
0:54:12	基本式等の、
0:54:14	非架空の対象になると思うんで、その辺をあまり、
0:54:19	踏み出しすぎずに書いてもらえばいいんじゃないかな。
0:54:23	いうふうに思いますが、
0:54:27	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:28	ありがとうございました。関西電力の福原です。今宮さんが去っていただいた中で、私どもと思う意見が大分近いなというのは感じました。て、基本ケースですね、詳細。
0:54:43	コードを使って出した結果に対して、まあまあ手計算レベルって言っちゃあれですけども、金利して合わないってことをやっても仕方がないですよと。
0:54:53	いうところは全く私ども等意見が一致しているところですので、質問いたしました。その中でですねちょっと
0:55:04	我々本日、妥当性確認として
0:55:08	二口が二つの切り口で、本日説明しているわけでございます。一つ目が、その類似解析との比較というものと、二つ目が、一般的なごめんなさい物理式といいますけども、との整合というパートで説明してもらってますけども、
0:55:23	今のお話でいきますと、やはりこの類似解析との比較という方がメインの妥当性確認であって、一般的な嘘意識との整合をとという方はあくまでややそれも弱い材料参考扱いだというふうに今聞こえたんですけども、規制庁さんもその認識でよろしいですか。
0:55:55	規制庁の店数はちょっと個人的に違うかもしれないけど
0:56:00	いわゆるルーなんですか。
0:56:04	3-6の第3-2図で、類似解析。
0:56:08	と比較してるけどもこれはあくまで
0:56:12	何ですか。
0:56:12	の推移についてのパラメーターない、水分含有率に対して、
0:56:18	空間平均密度っていうものを一つのパラメーターとして、
0:56:22	とったときにどうなるかっていうそういう比較。
0:56:25	としては一つの
0:56:28	何ですかね半田判断というか、
0:56:31	この解析について、
0:56:33	ある程度のところに来てるという判断をする上で有用だと思います。
0:56:38	A3の別添3の中の第3-4図の方は、これはまさに今回、
0:56:46	新たにというか、水位の依存性を、
0:56:50	うん。
0:56:51	この込み。
0:56:52	うん踏まえて、
0:56:54	最適評価と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:56	そういう言い方もされておりました。
0:56:58	そういうことに対しての解析を行ってるんで、
0:57:01	その後、特性、特徴に対して、
0:57:04	どういう
0:57:07	いうものを、
0:57:09	比較して、その工藤が、
0:57:12	昔のことになってないかという、そういう、
0:57:16	目的があるのでやっぱりそれぞれ違うんでね、
0:57:19	どちらが重要っていう話ではないような、要するに観点が二つあると。
0:57:25	いうふうに私は思います。
0:57:27	関西電力
0:57:31	関西電力の福原です。ありがとうございました。
0:57:39	この
0:57:40	山の中ですねありがとうございました。
0:57:46	このですね
0:57:54	はい。いいですか関西電力の福原です。別添3の中のページでこの第3-4図ですね、をお示して、ここから導かれる姿として、
0:58:07	水の低下に伴い実効増倍率が単調に減少しているということと、あと基本係数の方が、物理方程式に基づく評価結果よりも、水が抜けた時の実効増倍率というのがやや高目にあるとそれはカナダの
0:58:26	気相部にも小穴から水が上がるのでその分の企業があるからだという、この大きく二つで私今説明しているんですけども、先ほど鈴木さんの方からも
0:58:38	示して欲しい内容というのは概ねその二つだというふうにあれ、理解しましたので、そこは変えない井手置こうと思うんですけども、一方で、この前半のやや図であったり、前野さんの9ページの中であったりとか、いくつかのご表現です。
0:58:58	そこら辺に少し正確性を欠く部分があるのではないかと、あるというのが規制庁さんのコメントだというふうに理解しましたので、
0:59:09	SIMMER結論自体は大きく変わるものではないけどもそこら辺の表現を少し改めた形でお出しさせていただければいいのかなというふうに今感じております。
0:59:20	認識は言えますでしょうか。はい。規制庁鈴木です。その部分については現時点における関西電力なりの理解のもとで、もし修正が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:31	あるということであれば修正したものを一度出していただいて、我々、それをヒアリングで事実確認をさせていただく時に我々として、
0:59:41	明確な
0:59:43	その間、
0:59:46	考えの相違があるんじゃないかとかっていうところについてはペーパーで、
0:59:51	きっちりお示してそれで、
0:59:56	確認をすり合わせという確認をしていきたいと思います。
1:00:00	その方向でいいというところは先ほどお答えいただいたので、構わないんですけどもまず
1:00:07	この妥当性確認の確認、妥当性確認の資料につきましては、
1:00:14	許可の判断に関わるものではないというところでは共通認識だと思っていますので、
1:00:23	これは申請書の補正に、
1:00:26	の話は別ですね、
1:00:30	手続きを進め、
1:00:32	進めるのと並行して、
1:00:35	最終的にでき上がればいいと思っていますのでその辺、そのぐらいのスケジュールのつもりで、
1:00:41	一つ一つしっかり確認をするタイミングで確認をすると。
1:00:47	中途半端な状態でやるとまた、ああじゃないこうじゃないって話になってしまうので、
1:00:53	しっかり両者確認すべきところを明確にして、
1:00:58	突き合わせをするという、事実確認のヒアリングを、
1:01:03	やりたいと思っています。関西電力、こんなところで大丈夫でしょうか。
1:01:09	はい。浅井電力フクハラです。再補正の手続きとは切り離して、妥当性確認の議論を別途別でやるという部分については理事会ガー、我々としても同感でございます。
1:01:21	委員等で本件かなりライフ長い時間議論させていただいてきておりますので我々としても店舗要望ですね多分資料はお出ししていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
1:01:35	はい。中条津久井スズキですわかりました。では表示していただいている③と④が今の内容かと。
1:01:45	関連する内容かと思っておりますので、そちらについては

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:50	関西電力としてこれについて説明するとかですね、そういった記載にし といていただければ、
1:01:57	結構かと思います。
1:02:00	で、⑤と、その後ろのちょっとした、
1:02:04	映していただいて、六、七についてですけれども、
1:02:08	私からは特段いいですけど他に何かあります。はい。
1:02:14	衛藤規制庁のイトウです。申請書の書きぶりのところですねすみません ちょっと私の会合での言い方がよくなかったところがあるんですけども ちょっと
1:02:25	認識が違っているとまずいなというところを補足で、
1:02:29	述べますと、
1:02:33	今回の会合資料でいうと、1-1の5ページの表、
1:02:42	で話すといいかんと思ってるんですが、えっとですね、右側が今回の補 正申請で、
1:02:49	燃料は一井において臨界を防止する設計とすると書いてありますと、下 の方の、最も反応度の高い新燃料というのは、これは、
1:03:02	あくまでもう解析の条件を変えているところであると。
1:03:11	で、つまり、実際の燃料配置、実際の設計というか、運用って言った方 がいいんですかね
1:03:20	のところについて書かれているものではないと考えてます。
1:03:25	なのでちょっとこの具体的に記載っていうのはあまり正確ではないのか なという気はしています。
1:03:32	その認識で、江藤の上で述べると、既許可のときは、左側は具体的に 早期濃縮度だとか、メンソードだとかいう、
1:03:45	こういう設計とすると書いてあるんですけども、右側の方ではそれが —
1:03:51	消えていますと。
1:03:55	中性子吸収体がなくなるというのは上の分を見ればわかるんですけど、 ちょっとその初期濃縮度とか、メンソードとかがどうなって、
1:04:05	いるのかというところが、
1:04:08	明確ではないというところで、それを
1:04:14	その部分が保安規定のところのと、トリガーという言い方をスズキの方 からしてますけど、トリガーがちょっとはっきりしないと。
1:04:26	いうところでこういう指摘になっています。
1:04:30	そのあたり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:34	関西電力側の認識。
1:04:37	と合ってますでしょうか。規制庁スズキちょっと補足してくと今、
1:04:42	伊東が言ったところはテンパチのところの記載について言ったんですけれども言いたかったのは、
1:04:48	既許可は設計として燃料配置の話等々を書いてあるけれども、
1:04:54	今回の紙、申請の、
1:04:57	補正ではあそこが、
1:04:59	設計ではなくって、評価条件という説明のくだりに変わってしまっているのが、
1:05:07	ちょっと半並べたときに、
1:05:10	違う話を書いてあるように見えますよねっていう話で、保安規定のトリガーの方は、
1:05:16	テンパチの方から持ってくるというのは、基本的にはないと思っているので
1:05:21	変更の理由等のところで、何かしらトリガーはまず一つ欲しいなっていうところは、
1:05:28	変わらないところですね。
1:05:32	それは⑤の話かな。
1:05:39	ごめんなさい本当。
1:05:47	そうですね 05 の話のところはそのまま、
1:05:51	残るといふつもりで、イトウは話しました。よろしいでしょうか。認識は合ってますでしょうか。
1:06:00	はい。関西電力の大原です。確認させてください。
1:06:06	保安規定が変更になるということなんですけども、そのトリガーの文章が、テンパチに求める、テンパチの文書がそのトリガーになっているのはおかしいでしょっていうのが、そういうふう到我々聞こえたんですけどもそれでよろしいですか。規制庁鈴木です。
1:06:25	全くおかしいとは言っていないんですけれども、
1:06:28	本文中には、ラック形状と燃料配置のワードしか出てこないんですね。
1:06:35	これは
1:06:39	既許可においてもそういうふうになっていて、初めて、
1:06:43	テンパチで、
1:06:45	燃料配置だけじゃなくって、SFPをの中性子吸収体の配置だとか、
1:06:51	燃料配置の説明として、
1:06:54	初期濃縮度燃焼度等が説明されているだから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:59	その本文中で行っている燃料配置には、初期濃縮度とか燃焼度だとか、
1:07:05	そういったものが含まれた説明が、はい。
1:07:09	既許可ではあったのかなと思うんですけど、残念ながら、
1:07:13	今回の申請の補正においては燃料配置という言葉が変わっていないので、
1:07:20	そこを
1:07:22	変わってないワードをもって保安規定の変更っていうのは、
1:07:26	さすがに何を説明するのかよくわからないっていうところで変更の理由なのでその辺は、
1:07:31	言及された方がいいんじゃないかっていうところを、審査会合の場で述べました。
1:07:36	テンパチのところの記載については、
1:07:40	今まさに言った通り、
1:07:43	既許可においては、
1:07:45	その説明が追加されている本部に対して説明が、
1:07:49	追加されているような感じになっていてかつテンパチは設計のことが書いてありますよね。
1:07:55	で、今回の申請の補正については、その燃料配置のところは、最も反応度が高いっていうような評価条件で説明しますってなってるのでテンパチのところについて、
1:08:08	そもそも、既許可と今回の申請では、
1:08:12	若干数割が違うのかなっていうところがあって、その辺は少し、
1:08:18	違和感がありますねっていうところを井藤が言ったっていうと、
1:08:24	私が言いたいことわかりますでしょうか。
1:08:34	関西人は少々お待ちいただけますでしょうか。
1:08:38	はいわかりました。
1:10:18	はい。関西電力の福原です。ご説明ありがとうございました。本日の資料の1-1の5ページですね。
1:10:29	テンパツGの該当部分許可と補正申請並べて書いてますけども、そちら左側結局カーで抜かって一番最後は末尾が設計とするという文言になっているのに対して、同じ
1:10:47	右側評価するとなっていると、この燃料配置についてはというところはそのまま

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:56	には左も一緒に残ってるんですけども、ミヤマ結局下の文章がですね設計の話と運用の話をややおじゃま税にしたような感じで、書きつつ、最後の末尾を設計とすると。
1:11:12	いう形で書いていたのは少し今となつては、っていうこともありますけども、主オカを招くっていうか、
1:11:22	部分があつたのかなというふうに今感じております。
1:11:27	従いましてそこら辺をしっかりと解消するようにですねその
1:11:34	燃料は、この規定にですね、この後、メール配置の制限がなくなるんだということ、運用の変更も当然この後必要になってきますので、
1:11:47	そこのトリガーにもつなげていくと、こういうことも念頭に置きながら、ここのお伝えであつたりとか、申請理由で研究するとかですね⑤番のコメントを書いてますけども、そういった対策を、対策というか、
1:12:05	もちろん、その表現を検討させていただきたいというふうに思います。
1:12:12	規制庁伊藤です。はい。その方向でお願いいたします。
1:12:19	それでは以上いつから7までについて、追加でコメント等ありますでしょうか。
1:12:27	よろしい。
1:12:29	はい。
1:12:30	はい。それでは本日のラップアップについては以上としたいと思いますですが、関西電力側から何かございますでしょうか。
1:12:44	それでもいいです。ヒアリングは、
1:12:47	そういう話はまだ東京経由で東京、
1:13:03	土岐セトイトウです。よろしいですかね。
1:13:08	よろしければ以上でラップアップは終わりたいと思います。ありがとうございました。どうぞ。すいません。何かそれでミヤマでございます。はい。
1:13:20	確認をさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。はいお願いします。
1:13:25	すいません。
1:13:27	次回のですね、ヒアリングの日程についてなんですけれども、施設をイトウです。すいませんスケジュールの関係はこのヒアリングを締めた後でお話をさせてもらえればと思います。
1:13:43	承知いたしました。それでは藤技監よろしくお願ひいたします。失礼いたしました。それではラップは以上としたいと思います。ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:52	ありがとうございました。
---------	--------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。